


2023.3.7 発達心理学会 7PM1-F-SS08  
痛みを分かち合う異文化コミュニケーション

## 【異文化】としての 【定型】と【自閉】を つなぎなおす 支援の模索

(一財)発達支援研究所  
山本登志哉




1

## 「自閉=定型間の葛藤」を 一種の文化現象として読む

■ 葛藤を規範のズレとして  
理解する視点

ある立食パーティーでのこと。甲さんは休憩用の椅子にカバンを置いて料理を取りに行った。  
甲さんが戻ってみると、カバンの口が開いていて、その中に誰かが脱いだ服がつつこまれていた。  
それは知り合いの乙さんが甲さんの知らないうちに彼のカバンを開けて入れておいたものだった。

甲さんは日本人 乙さんは中国陝西省の漢民族




2

## ズレが生む 「規範的」な文化間対立

情動的

「友達を大切にする方法」への規範的視点のズレ

- 子どものおごり合いへの親の態度
  - 日本の親 「迷惑になる」「上下関係を生む」「自分のことは自分で」「何でのごとてあげないんだ!」「おごりあいが友情を深める」
  - 韓国の親 「おごりあい」
- 日韓の研究者間の「規範的」対立
  - 子のおごりは非教育的と感じる日本の研究者
  - 割り勘は利己的と感じる韓国の研究者



3

## コミュニケーションの基本単位

### EMS (Expanded Medial Structure: 拡張された媒介構造)

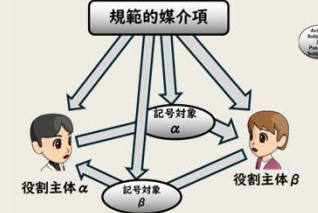

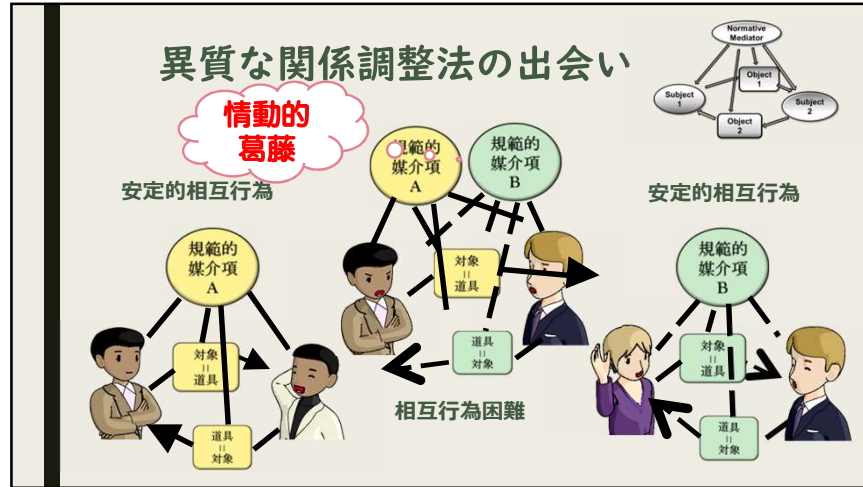


図1 拡張された媒介構造:EMS

Yamamoto, T. & Takahashi, N. (2007)



4



5

## 「定型」には意外な「自閉的論理」

### Aさんの場合

- 私は、自閉症スペクトラムの診断を受けている発達障がい当事者です。
- 私は仕事に、同僚の私物を借りることがありますが、器用さの課題から壊してしまうことが少なくありません。壊してしまったときにはきちんとテープで補修をして、元に戻しておきます。
- さて、どうして私は持ち主に、借りたものを壊したことを報告しないのでしょうか？

### Bさんの場合

- 私は、自閉症スペクトラムの診断を受けている発達障がい当事者です。
- 私は仕事に、付箋やステープラーなどの文房具が必要になると、事務スペースの職員の筆箱を開けて探すことがあります。持ち主がいたら、声をかけてその人に出してもらいますが、いないときには勝手に開けています。
- さて、どうして私は他人の筆箱を遠慮なく開けるのでしょうか？

こどもサポート教室『きらり』栗林南校(2024) 第3回逆SST体験 より

6

## (たぶん) 日本の定型の平均的受け止め

- 借りたものを壊したことを報告しない
- ⇒ 他人の物を壊せば謝罪や弁償が必要
- ⇒ それが「人」としての基本的倫理
- ⇒ その逸脱は許しがたく信用できない
- ⇒ 相手に驚き、怒りがわいてくる
- ⇒ 「無責任」さが非難・攻撃の対象に

- 他人の筆箱を遠慮なく開ける
- ⇒ 筆箱は「他人の私的空間」
- ⇒ 私的空間や私有物は所有者に権利
- ⇒ 他者は勝手に侵害してはならない
- ⇒ 侵害は恐怖や怒りを生む
- ⇒ 権利の侵害は許しがたい行為

情動的反応

7

## Aさんが借りたものを壊したことを報告しない理由

子どもの頃たまに、押しの強い人に半ば強引にものを取られたり借りられたりしてしまうこともありましたが、反応速度が遅い私は「ああ...取られた」の後に「まあ...仕方ないか」という納得を自分に落とし込んで解決していました。

そのあたりも影響してしまっているかもしれませんが、自分が公共の場に持ってきたものを破かれたり汚されたりしたら、「もうそれは仕方ない」「他の人もそうかな」と考えるようにしています。

ちなみに、家に遊びにきた友人や『きらり』の他の職員さん・利用者さんの鞆の中身は、触ること自体に抵抗があります。そもそも「人のものを盗りたい、欲しい」という要求とは全く別だと思ってください。

8